



製品安全対策優良企業表彰（PSアワード） 平成29年度 受賞企業講演会

PSアワードの概要説明と今年度審査の概括

製品の安全のことを、ただひたすら真っすぐに。
あなたの熱意をご紹介ください。



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

目 次

1. 表彰事業の概要
2. 平成29年度 受賞企業・団体のご紹介
3. 次年度のスケジュール予定

1. 表彰事業の概要

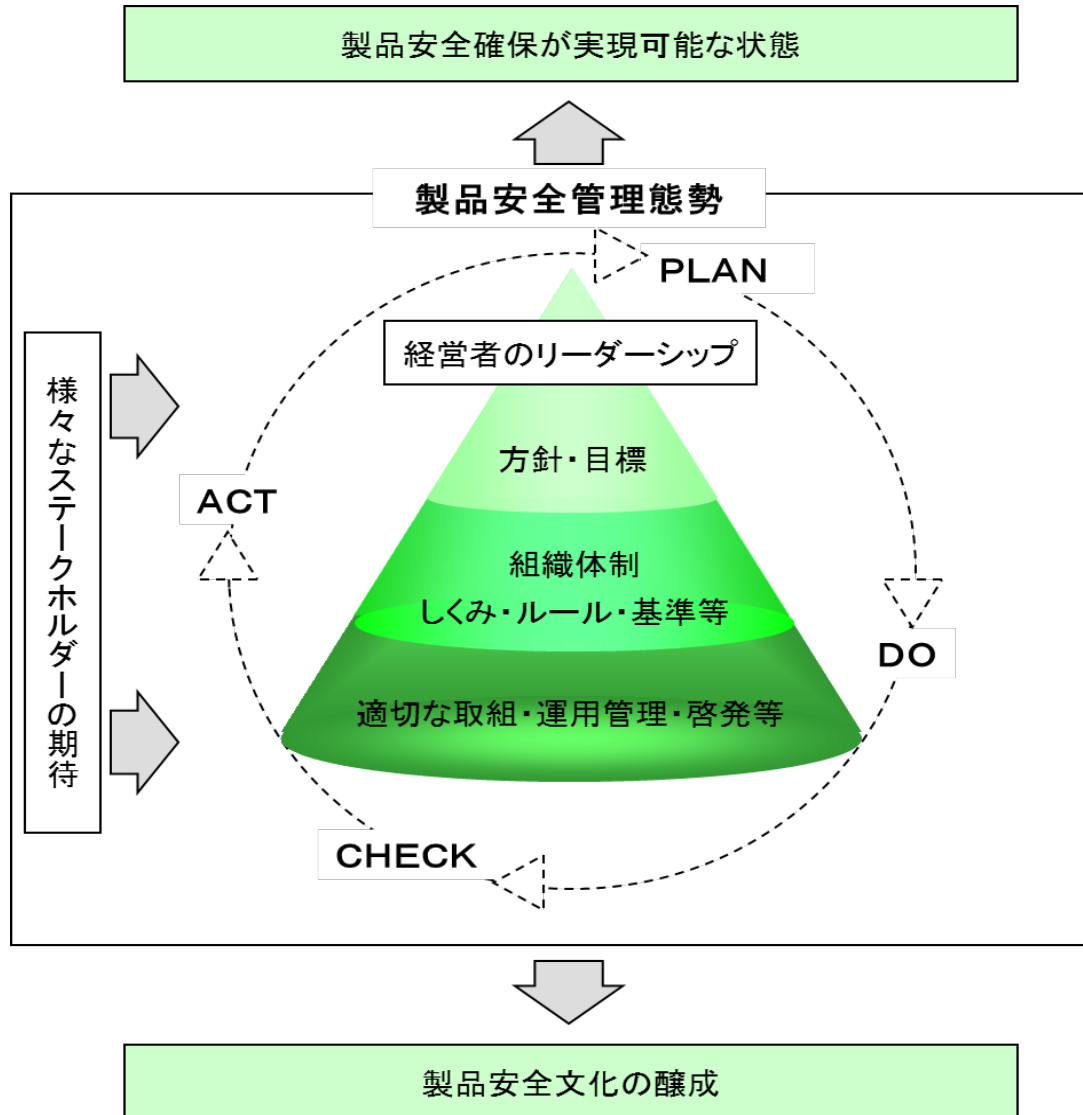
製品安全対策優良企業表彰とは

経済産業省が、企業や団体の、製品安全への優れた取組を募集し、表彰する制度です。



「製品安全文化」の定着を図り、製品安全が持続的に向上していく社会づくりをめざしています

求められる姿



「製品安全に関する事業者ハンドブック」(経済産業省)より抜粋

審査における考え方

- 製品自体の安全性については評価しません。
- 製品安全活動について評価します。

- 製品安全を確保するための体制を審査するとともに、特に優れた取り組みに重点を置いて評価します。
- 社内の体制（仕組み・ルール）のもとで、実際に行われている取り組みを重要視します。
- 過去の製品事故やリコールなどの有無は問いません。むしろ、積極的なリコールやリコール回収率を高める取り組みなどを評価します。事故やトラブルの経験を糧に、どのように取り組みを改善したか、どのように体制を整備しているかなどを確認します。

審査基準：一次審査、二次審査の評価方法

1. 応募シートに示した**4つの視点**（特別賞は**2つの視点**）に関する取組が**総合的に優れている企業・団体**
2. 応募シートに示した**4つの視点**（特別賞は**2つの視点**）**いずれかにおいて卓越した取組を行っている企業・団体**

取組の先進性、積極性、意欲性等の観点で優れた企業・団体を選出します。

2. 平成29年度 受賞企業・団体のご紹介

第11回（平成29年度）

受賞企業・団体

大企業 製造・輸入事業者部門

経済産業大臣賞

YKK AP株式会社

ゴールド企業認定

技術総括・保安審議官賞

日立アプライアンス株式会社

優良賞

パナソニック株式会社 アプライアンス社
ランドリー・クリーナー事業部

不二サッシ株式会社

株式会社ワコール

大企業 小売販売事業者部門

該当企業なし

※ゴールド企業認定：大臣賞を計3回受賞

中小企業 製造・輸入事業者部門

経済産業大臣賞

アキュフェーズ株式会社

ゴールド企業認定

技術総括・保安審議官賞

山本光学株式会社

中小企業 小売販売事業者部門

技術総括・保安審議官賞

株式会社大一電化社

奈良日化サービス株式会社

特別賞

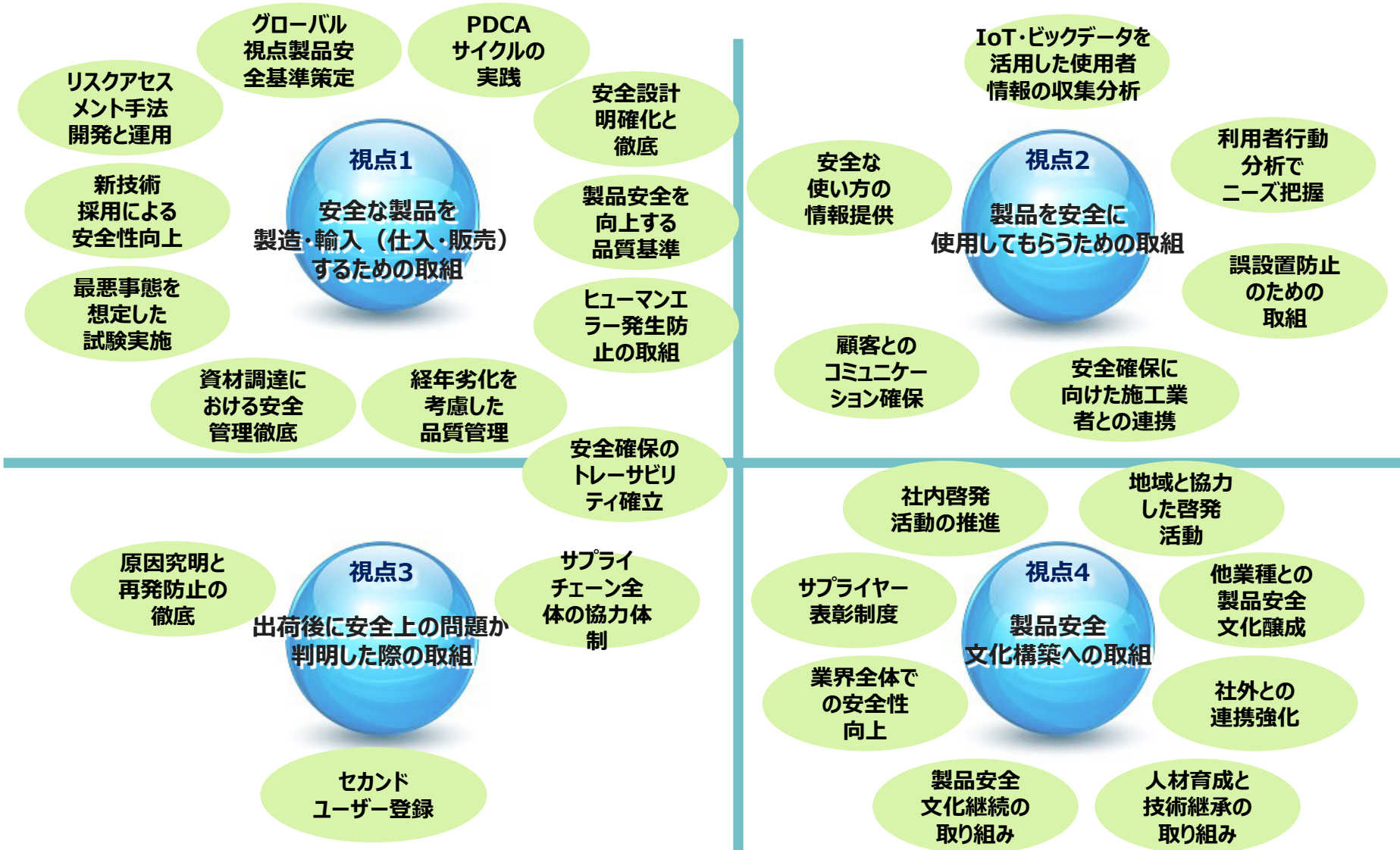
団体部門

消費者行政充実ネットちば

企業部門

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

受賞企業の評価ポイント (製造・輸入事業者)



受賞企業の評価ポイント (小売販売事業者)

安全性重視
の商品化

技術評価の
徹底と事故
防止策

視点1

安全な製品を
製造・輸入 (仕入・販売)
するための取組

グループ企
業の品質
基準構築

使用者視点
による取扱
製品選定

仕入れプロ
セスの規定
化

顧客との双
方向コミュニ
ケーション

使用者への
丁寧な安全
情報提供

視点2

製品を安全に
使用してもらうための取組

苦情処理
情報の
有効利用

販売前の訪
問下見サー
ビス実施

製品エンド
ユーザーへ
の情報提供

家庭向け総
合メンテナ
ンスサービス

視点3

出荷後に安全上の問題が
判明した際の取組

リスクアセス
メントによる
リコール判断

事故発生
情報の
全社共有

業界全体の
安全レベル
をリード

製品安全文
化定着を図
る情報提供

視点4

製品安全
文化構築への取組

社員向け製
品安全技術
研修の強化

自社・取引
先の人材
育成

納入・施工
業者の
管理徹底

加盟店含め
た情報共有
と人材育成

取引先の
適正評価

受賞の評価ポイント

大企業 製造・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 YKK AP株式会社

- フィールドエンジニア参画による現場の実情を反映した安全設計の実現
- 社内外の関係者への製品安全実現のための技術力の確実な伝承
- 製品安全文化を継続的に育む仕組みと実践

技術総括・保安審議官賞 日立アプライアンス株式会社

- HHA（使われ方等ハザード分析）手法の着実な実践によるリスクアセスメントの精緻化
- スマートフォンを活用した事故・不具合情報の早期把握
- さまざまなステークホルダーとの製品安全文化の醸成

受賞の評価ポイント

大企業 製造・輸入事業者部門

優良賞 パナソニック株式会社 アプライアンス社 ランドリー・クリーナー事業部

- 製品安全の確実な実践とそれを支える人材の充実
- 測るモノづくりの実践
- 分かりやすい取扱説明書作成に向けた不断の取組

優良賞 不二サッシ株式会社

- 緻密な検証試験に基づく社内基準の確立
- 施工業者と連携した安全確保に向けた取組
- 施工後の安全確保に向けた取組

優良賞 株式会社ワコール

- 材料保証書システムの構築による調達品の安全性の確保の徹底
- 表面フラッシュ問題に対する徹底した原因究明と再発防止
- 安全上の問題発生時における対応フローと関係者・関係部門及びその役割・権限を明確化

受賞の評価ポイント

中小企業 製造・輸入事業者部門

経済産業大臣賞 アキュフェーズ株式会社

- 安全設計思想の徹底と第三者機関の有効活用による安全性の確保
- トレーサビリティ確保に向けたセカンドユーザー登録の実施
- 安全規格策定、検討作業への主体的関与

技術総括・保安審議官賞 山本光学株式会社

- 豊富な過去のデータ・経験及びモニターテストに基づく設計
- 安全性確保のための試験・検査・評価方法の確立
- 正しい使用方法に関する啓発の継続的な活動

受賞の評価ポイント

中小企業 小売販売事業者部門

技術総括・保安審議官賞 株式会社大一電化社

- 製品安全の取組の着実な積み上げ（PDCAサイクルの実践）
- WEB、セミナーを利用した安全な使用方法に関する情報発信の充実
- 機種別の故障状況・修理内容のデータ化と協力会社との共有

技術総括・保安審議官賞 奈良日化サービス株式会社

- 正しい設置工事实現のための実務研修による社員のスキルアップ
- 地域住民に対する製品安全活動「安心くらぶ」の継続
- 他の日化サービスネットワークへの取組の共有

受賞の評価ポイント

特別賞

団体部門 消費者行政充実ネットちば

- 対象層に合わせたリコール対象製品の発見に向けた取組
- リコール制度の消費者への啓発
- 行政・地域団体と連携した取組の推進

企業部門 株式会社セブン&アイ・ホールディングス

- 製品安全実現に向けた基盤整備の確立
- 重大製品事故発生時のレポートラインの明確化
- 今後の具体的な取組計画の策定

製品安全対策優良企業ロゴマークに込めた思い

- 本表彰のロゴマークは、Product（製品）の『P』とSafety（安全）の『S』をモチーフに安全なイメージを与える色としてグリーンを使って葉の様に見せています。
- 「Product Safety」という英文表記の入ったオレンジの四角と合わせることで、チューリップをかたどり、安心をイメージしています。四角は安定、清潔、秩序などのイメージを持ち、四角（製品、安全）を、葉（人の手、企業）で包むように大切にしているということを表現しています。



ロゴマーク(企業部門別表彰)



ロゴマーク(特別賞)



ロゴマーク(ゴールド企業)

製品安全対策優良企業として受賞されると・・・

「製品安全対策優良企業ロゴマーク」を受賞企業の公表日よりご使用いただけます。

- 名刺や封筒、自社のホームページ等にロゴマークを掲載することで、消費者や取引先等のステークホルダーに「製品安全対策優良企業」を広くPRすることができます。
- 広報に当たっては、製品安全対策優良企業表彰のロゴマークをご活用ください。

受賞についての広報例



- 自社WEBページでの紹介
- 店頭・事務所でのポスター掲示
- 名刺、ネームプレートへのロゴマーク掲載
- ニュースリリース及びメディア取材対応
- 新聞・チラシ広告
- 商談会ブースでの紹介
- カタログでの表示
- 配布物へのロゴマーク掲載
- 工場見学コースへの表彰状掲示
- CSR報告書への掲載

受賞企業・団体の声

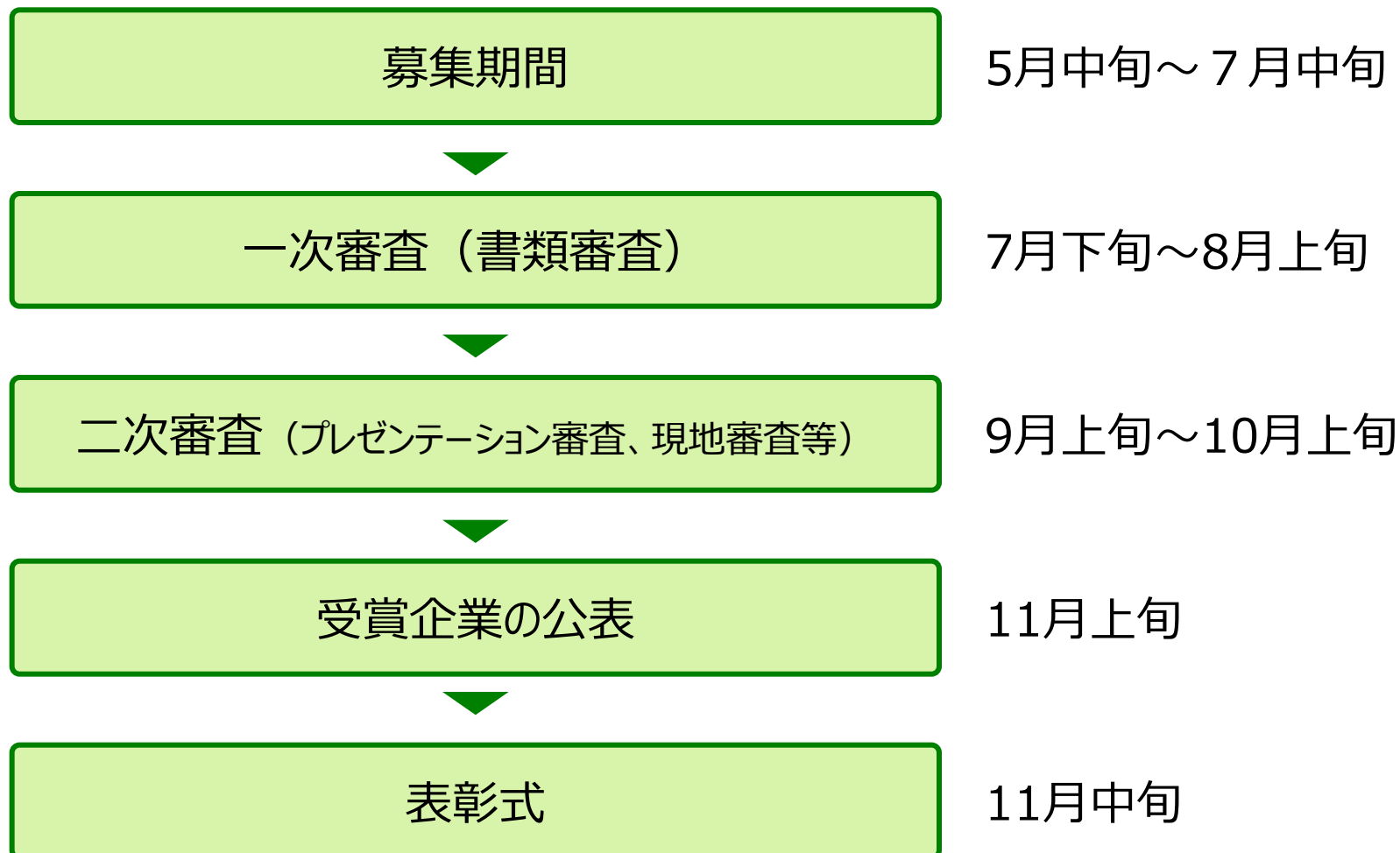
- 受賞ポイントとして評価いただいた取り組みを業務として担当している社員の励みになった
- 品質保証担当者が社長表彰を受けた
- 他社から弊社の製品安全活動について他お取引先様へ紹介する内容での講演依頼があった
- 安全試験を依頼している試験機関内で、顧客企業の受賞として紹介された。また、授賞式を紹介した記事が「日経ものづくり」誌のサイトの週間ニュース記事ランキングの上位に入った(2017年11月)
- 受賞により社員の自信につながった。また、他社から活動に対する問合せや新聞社からの受賞取材があった
- 同種の消費者団体から詳細な資料の送付を依頼された

応募・審査を受けた企業・団体の声

- 応募に向け、自社の製品安全、リスク管理の状況を整理する途中で、自社に欠落している項目、足りない資料などを客観的に把握する事が出来た
- 一次審査の資料作成では、製品安全に関する自社の体制や実態を体系的に見直すことができた
- 一次審査の資料作成は、社内で委員会を立ち上げ、各部門より委員を選出し、議論することで部門間のコミュニケーションが取れるという効果があった
- 一次審査の書類作成で、製品安全文化という視点から改めて取り組みの意義を確認できた
- 今回は、現地調査のほとんどの質問を担当社員にこたえてもらいました。彼らの自主性、責任感がさらに上がったと思います
- 現地調査で、実際に実行している製品安全に向けた行為、エビデンスデータ等を見て頂き、その内容について、より効果的な運用方法やアドバイスを頂ける事は大変参考になります

3. 次年度のスケジュール予定

スケジュール（予定）



「製品安全表彰メールマガジン」登録のご案内



経済産業省が発行するメールマガジンで、登録者に製品安全優良企業表彰や製品安全の分野に関する情報（セミナー開催情報含む）を不定期でお届けしています。ご登録方法は「配信希望」と書いたメールを送信するだけ。

配信内容の具体例や配信希望メールの送付先は、キーワード検索または以下をご覧ください。

http://www.meti.go.jp/product_safety/ps-award/5-other/mail_mag.html

問い合わせ先

平成29年度 製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）事務局
（株）インターリスク総研 リスクマネジメント第三部
危機管理・コンプライアンスグループ

担当：佐藤、蛸子

メールアドレス：ps_award2017@ms-ad-hd.com

電話：03-5296-8912